

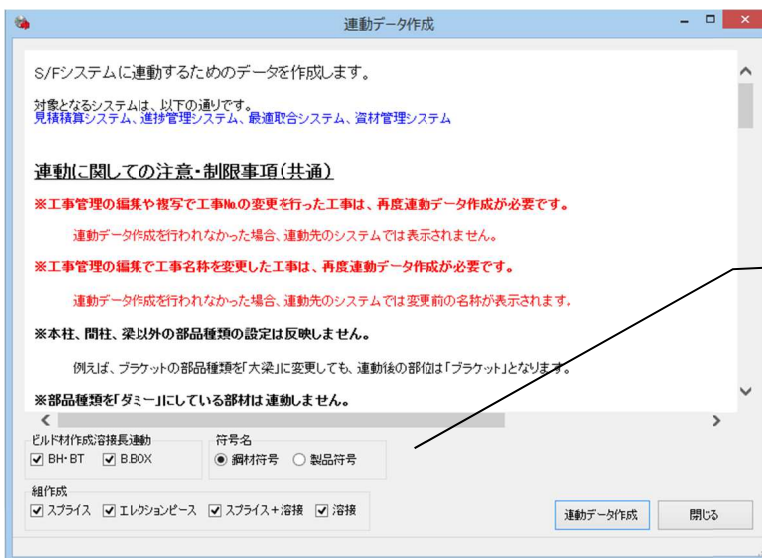
REAL4 から連動したい

操作方法

- 1) REAL4 の出カタブから<連動>-<連動データ作成>をクリックします。



- 2) 連動データ作成画面で<連動データ作成>をクリックします。



[ビルド材作成溶接長連動]

BH・BT、B. BOX のチェックを入れるとビルド材作成時の溶接長を連動します。

[符号名]

鋼材符号または製品符号で連動するか選択します。

[組作成]

最適取合システム Ver3 用のため、見積積算には連動されません。

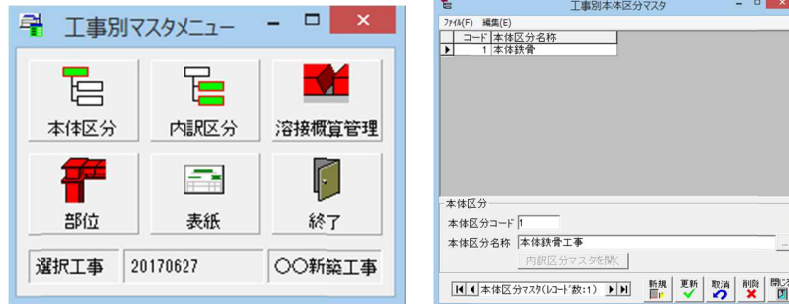
- 3) 「3Dデータを作成しますか？」で[いいえ]をクリックします。(3Dデータは進捗管理システムでのみ使用するためのデータです)
- 4) 連動データ作成終了で REAL4 での処理は終了です。
- 5) 見積積算と REAL4 が同じ PC にインストールされている場合は見積積算を起動します。
別々の PC の場合、工事データを工事番号のフォルダーごとコピーし、見積積算を使用している PC のデータを管理するフォルダーに貼り付けて下さい。
- 6) 見積積算を起動し、メインメニューの<工事選択>をクリックします。



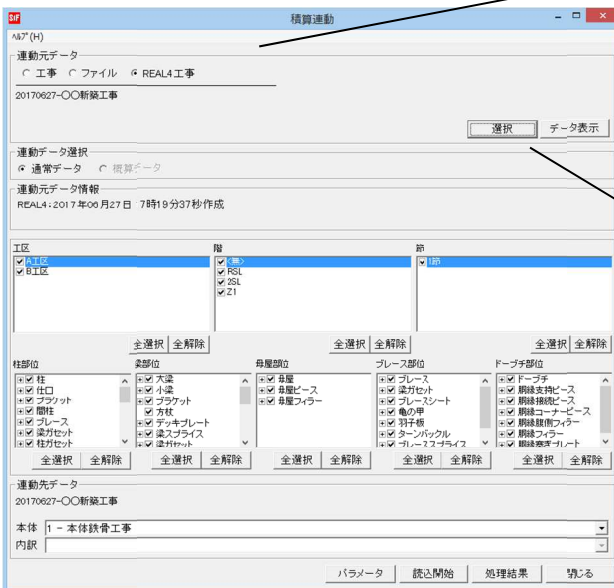
- 7) 工事管理画面で連動データを作成した工事を選択します。
見積積算と REAL4 の工事を分けて使用する場合は、新規工事を作成します。



- 8) メインメニューの<工事別マスタ>をクリックします。
9) 工事別マスタで<本体区分>をクリックして、本体区分マスタを作成します。
必要に応じて内訳区分を作成します。



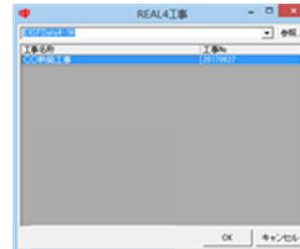
- 10) メインメニューの<積算連動>をクリックします。
11) 積算連動画面で [連動元データ] -<REAL4 工事>を選択し、<選択>をクリックして工事を選択します。



[連動元データ] REAL4 工事を選択します。

連動元データ
 工事 ファイル REAL4 工事

[選択]をクリックして REAL4 で連動データを
作成した工事を選択します。



- 12) <読込開始>をクリックします。